令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　706

事務事業名称		政務活動費交付事務						
担当部署(R8年度機構)		部:　議会局		課:　議会総務課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	29.市民との情報の共有化を進めます				性質	内部事務・行政運営	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　2001(H13)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	地方自治法 枚方市議会議員に対する政務活動費の交付に関する条例 枚方市議会議員に対する政務活動費の交付に関する条例施行規則						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	議員が政務活動費を活用し、先進事例の視察や専門的な研修の受講などの調査研究を行うことにより、議員としての資質の向上が図られ、もって本会議や委員会等における審議等が活性化し、市政の発展につながっている状態。						
	対象者(受益者)	政務活動費の交付を受ける議員						
	現状・課題	議員の調査研究や自己研鑽の機会の確保が求められている。						
	事業の概要	政務活動費の交付申請を行った市議会議員に対し、四半期毎に3カ月分の政務活動費を規則で定めた交付日に交付する。 また、交付を行った政務活動費については、年度末において各議員から提出された書類を確認して交付額を確定するとともに、その収支に係る全ての書類について、事務局でPDF化を行い、ホームページ上で公開する。						
	年間の主な事務	・政務活動費の交付 ・収支報告書の確認及びホームページでの公開						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	0.65人	0.65人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.10人	0.10人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	4,997	5,336	—	—		
		会計年度任用職員	213	214	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計		5,210	5,550	—	—		
	物件費計		21,293	21,598	—	—	26,880	80.3%
歳出計			26,503	27,148	—	—		
歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	
	府支出金		0	0	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	—	—	0	
	市債		0	0	—	—	0	
	その他		0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			21,293	21,598	—	—	26,880	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 政務活動費の交付申請を行った市議会議員に対し、政務活動費を交付する。	円	26,040,000 円	26,040,000 円	— 円	— 円

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明: —

指標: —

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明: —

指標: —

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

—

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	政務活動費に係る書類確認事務については、正確な執行を要するため課内の書類チェックを強化しているが、書類チェック箇所の増大や年度当初に事務が集中していることから、事務量の平準化と時間外勤務の縮減を図るため、事務内容について、見直せる部分を整理し事務の効率化を図り、確実な事務執行を進めていく。
R7年度	近年のインターネットサービスの発展などに伴う政務活動の多様化を踏まえた議会改革懇話会における協議を経て、政務活動費マニュアルの見直しを行った。 また、ホームページでの収支報告書等資料公開に係る準備作業において、デジタルツール(PDF編集ソフト)を活用することで、事務の効率化を図った。 引き続き、正確な執行を要するため課内の書類チェックを強化するとともに事務の効率化を図り、確実な事務執行を進めていく。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	政務活動費の使途については、令和8年3月改訂版マニュアルの適用初年度であることから、より丁寧な説明に努め、一層適正な執行と使途の透明性向上を図ることとする。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	見直し	見直し	現状維持	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　707

事務事業名称		正副議長秘書事務						
担当部署(R8年度機構)		部:　議会局		課:　議会総務課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	29.市民との情報の共有化を進めます				性質	内部事務・行政運営	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　1947(S22)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	枚方市議会事務局処務規程						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	正副議長が公務を円滑に行うことができている状態。						
	対象者(受益者)	議長・副議長/事務局職員						
	現状・課題	正副議長の公務が円滑に行われるよう、正確な秘書業務が求められている。						
	事業の概要	正副議長が円滑に公務遂行できるよう日程の調整・管理を行う。また、関係部署等と事務レベルでの情報交換等を行い、正副議長に提供する参考資料を作成するとともに、正副議長が諸会議等の出席の際に随行する。 加えて、市議会関連組織、団体への負担金交付により、市議会相互の緊密な連携、調査研究を行う。						
	年間の主な事務	・日程調整・管理 ・諸会議等の出席に伴う資料作成 ・市議会関連組織、団体への負担金交付						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	1.35人	1.62人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出 内訳 正職員、再任用、任期付職員	10,379	13,299	—	—		
歳出 内訳 会計年度任用職員	0	0	—	—		
歳出 内訳 特別職非常勤	0	0	—	—		
歳出 内訳 附属機関委員	0	0	—	—		
歳出 人件費計	10,379	13,299	—	—		
歳出 物件費計	2,396	2,260	—	—	2,793	80.9%
歳出計	12,775	15,559	—	—		
歳入 国庫支出金	0	0	—	—	0	
歳入 府支出金	0	0	—	—	0	
歳入 受益者負担(使用料・手数料)	0	0	—	—	0	
歳入 市債	0	0	—	—	0	
歳入 その他	0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)	2,396	2,260	—	—	2,793	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 正副議長の議長会等出席に係る随行	回	10 回	19 回	— 回	— 回

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明	—
指標	—

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明	—
指標	—

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

—

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	正副議長が円滑に公務活動を行えるよう迅速かつ的確に日程の調整・管理を行った。また、正副議長の公務に随行する際は、相手方と事務レベルでの調整を十分に行い公務を遂行した。各負担金の交付についても適正に支出を行った。
R7年度	正副議長が円滑に公務活動を行えるよう迅速かつ的確に日程の調整・管理を行った。また、正副議長の公務に随行する際は、相手方と事務レベルでの調整を十分に行い公務を遂行した。各負担金の交付についても適正に支出を行った。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	正副議長のスケジュールを局内で共有し、円滑に日程調整を行う。また、随行記録を共有し活用することでスムーズな随行業務を行う。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　952

事務事業名称		議会総務課運営事務						
担当部署(R8年度機構)		部:　議会局		課:　議会総務課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	9.施策体系外				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	99.施策体系外				性質	内部事務・行政運営	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　不明		～		事業終了予定：　未定(継続実施含む)		
	根拠法令等	決裁						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし				補助金性質:　—		
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	課員が、それぞれ担当する事務を適正に把握し、正確かつ迅速に執行している状態。						
	対象者(受益者)	議会総務課職員/全ての議員						
	現状・課題	課の運営を円滑に図る必要がある。						
	事業の概要	課の運営業務						
	年間の主な事務	・照会、回答事務 ・財務管理事務 ・栄典関係事務						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	2.45人	2.18人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	18,836	17,896	—	—		
		会計年度任用職員	0	0	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計		18,836	17,896	—	—		
	物件費計		760	807	—	—	980	82.3%
歳出計			19,596	18,703	—	—		
歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	
	府支出金		0	0	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	—	—	0	
	市債		0	0	—	—	0	
	その他		0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			760	807	—	—	980	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動（アクティビティ）

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① ―					

4. 活動による結果（アウトプット）および変化・便益（アウトカム）

ロジックモデル

アウトプット（活動が産み出した結果）

アウトプット①

説明	―					
指標	―					
		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					―
	実績					―
	算出方法	―				

直接アウトカム（結果による変化・便益）

アウトカム①

説明	―					
指標	―					
		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					―
	実績					―
	算出方法	―				

5. 中長期的な変化・便益（中間アウトカム）

―

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	枚方市議会の機能を十分に発揮するため、定期的なOJTで職員の議会事務能力の向上を図るとともに、研修等で知識・技術の習得に努めるなど、自治体職員としての研鑽に取り組んだ。
R7年度	枚方市議会の機能を十分に発揮するため、定期的なOJTで職員の議会事務能力の向上を図るとともに、研修等で知識・技術の習得に努めるなど、自治体職員としての研鑽に取り組んだ。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度取組方針	各業務を適正かつ円滑に遂行できるよう取り組みを進める。また、情報収集や連絡調整等を積極的に行うとともに、外部研修を含む各種職員研修を通じて得た知識や技術を課内で共有し、自治体職員としての研鑽に励む。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性（R5実績測定）	R7年度の方向性（R6実績測定）	R8年度の方向性（R7実績測定）	R9年度の方向性（R8実績測定）	R10年度の方向性（R9実績測定）
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	―	―

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　999

事務事業名称		議員調査・視察事務						
担当部署(R8年度機構)		部:　議会局		課:　議会総務課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	29.市民との情報の共有化を進めます				性質	内部事務・行政運営	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度 —	R7年度 —	R8年度	R9年度
	事業期間	事業開始：　1947(S22)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施)						
	根拠法令等	枚方市議会局処務規程						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	議員が他市の先進事例等の調査や視察を活発に行うことができ、その成果として市への政策提言等が恒常的に行われている状態。						
	対象者(受益者)	市議会議員						
	現状・課題	市議会議員が他市の先進事例等の調査や視察を活発に行える環境の維持が求められている。						
	事業の概要	会派等による他市の先進都市研修(視察)における日程等の調整、議員発議による他市の先進事例等の調査を行っている。						
	年間の主な事務	・議員からの依頼による先進都市視察の調整(常任委員会による視察を除く) ・議員からの依頼による他市調査の集約、調査結果報告						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	0.21人	0.21人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出 内訳 正職員、再任用、任期付職員	1,615	1,724	—	—		
歳出 内訳 会計年度任用職員	0	0	—	—		
歳出 内訳 特別職非常勤	0	0	—	—		
歳出 内訳 附属機関委員	0	0	—	—		
歳出 人件費計	1,615	1,724	—	—		
歳出 物件費計	0	0	—	—	0	0.0%
歳出計	1,615	1,724	—	—		
歳入 国庫支出金	0	0	—	—	0	
歳入 府支出金	0	0	—	—	0	
歳入 受益者負担(使用料・手数料)	0	0	—	—	0	
歳入 市債	0	0	—	—	0	
歳入 その他	0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)	0	0	—	—	0	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 議員発議の他市調査依頼件数	件	0 件	6 件	— 件	— 件
② 議員の先進都市研修(常任委員会での視察を除く)に関する事前の調整依頼件数	件	8 件	14 件	— 件	— 件

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明: —

指標: —

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	—				—
実績	—		—	—	—
算出方法	—				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明: —

指標: —

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	—				—
実績	—		—	—	—
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

—

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	各会派による先進都市研修の実施にあたり8件の事前調整を行った。
R7年度	議員発議の他市調査を6件実施した。 各会派による先進都市研修の実施にあたり14件の事前調整を行った。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	地域が抱える課題が複雑化かつ多様化する中、議会として議決・監視機能に加え、地域の課題解決に資する政策を積極的に立案する役割が求められている。 こうした中、令和8年度から、議会事務局を「議会局」へと改編したところであるが、議会及び議員とともに「チーム議会」を構成する議会局として、議会が自らの意思で政策を形成する活動全般を補佐し、二元代表制の一翼を担う議会の機能強化を図る。	R8年度方向性	**拡充**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	見直し	**現状維持**	**拡充**	—	—